

齊藤 興一君 小林会長の舟出頑張っています。鏡のような航海でも大波や、嵐があるので心して頑張ってください。

早川 龍雄君 BOX委員会のテーブルに付きましたので義理で一口。

刈岡 茂君 大橋さん退院おめでとうございます。お元気でお過ごし下さい。

佐藤 義英君 加藤実さんの入会を祝して!!

米山 忠俊君 あんたに協力。

横山加代子君 長野さんようこそいらっしゃいました。ぜひご入会して下さい。

卓 話： 「中條年度スタートに寄せて」 RI第2560地区幹事 斎藤 正

待望久しかった加藤 實さんが再入会されました。加藤さんのコメントでおわかりのように大変明るく、心優しい面を持っていらっしゃいます。是非以前にも増して、北クラブのためにお力を貸していただければ、大変有り難いと思います。

いよいよ中條年度がスタートいたしました。この14日に最初の新潟東RCの公式訪問がありました。既にご承知の通り、一昨年から7分区の各AG又はそれぞれの大委員長さんにお集まりいただき、中條GBの基本的方針を元に話し合いをしていただき、今年の2月には国際協議会に10日間出席され帰国後、歴代ガバナーによる諮問委員会、地区役員による運営会議等の場で国際協議会での勉強の成果を発表されました。

その後、ペッツ、地区協議会と2つの大きな大会を経て、7月1日から中條年度がスタートいたしました。

公式訪問の最初は歴史の深いクラブを訪問するのが普通です。この地区では新潟RCですが中條GBは亡くなられた野沢パストガバナーの新潟東RCを訪問されました。これは中條GBは野沢パストGBにご指導を頂き、教訓を受けたという思いがあったようです。私も同行いたしましたが公式訪問の前に野沢パストGBのお墓参りをされました。

中條GBは野沢年度でAGとして務められましたが、野沢GBの一代で上場企業を作られた経営手腕にも大変尊敬の念があったようです。高校時代、野沢GBは巻高校の柔道部、中條GBは三条高校の柔道部ということで多くの大会等で顔を合わせられたようですが、「野沢さんに投げられたけれど、投げたことはない」と言っておられました。このようなこともあって、最初の訪問クラブは新潟東RCと決められたようです。

公式訪問、中條年度への期待、重点項目、の3つのことをお話ししながら、今まで以上に会員の皆さんからご協力いただき、無事中條年度を終わることが出来るようにお願いしたいと思っております。

中條GBは公式訪問に先立ちレジメを作りました。おそらく今までのガバナーの中で公式訪問のレジメを作られた方は無かったと思います。非常に密度の濃い、盛りだくさんの内容で約30分話されます。

中條年度への期待感 ペッツ、地区協議会は大成功でした。参加されたロータリアンからは絶賛していただきました。今ままですと懇親会となりますと空席が目立ちましたが、中條年度の地区協議会は誰一人帰る人もなく大変、喜んでいただきました。おそらく10月に行われる地区大会もこの様に行われると思います。

これは、中條年度に対する全ロータリアンの期待感だと思います。

ロータリーの友7月号を見ていただくと解りますが、全国34人のガバナーの中でロータリー歴42年間という中條GBは一番長いです。AG、クラブ奉仕委員長を務められ、会員増強では全国で3番目です。さらに中條さんがガバナーになられた経緯を見ますと、原GB年度にガバナーノミニーが決定したわけですが、原GBは「しばらくドクターが続きます。実業人のガバナーにしたらどうか。是非三条から出してもらいたい」との要請を受けて今日を迎えているわけです。

ドクターだから、実業人だからではなく、携わっていることでの基本的考えが違って当然です。どちらがよいとか、悪いとかではないですが、地区内2000人以上のロータリアンの大半は実業家です。

クラブは自主性を持って運営するのであって、地区はRIからの情報をクラブに伝えることです。主役はあくまでもクラブであって地区全体として何かをやるということではない。という考え方でここ数年続いてきましたが、その反面、会員増強がままならない。会員が減少し小さなクラブに変わってきています。

三条東RCを除いて56クラブありますが、会員数が10人代のクラブが7クラブ、20人代が13クラブ、30人代が14クラブ、40人代が11クラブ50人代が5クラブ、これ以上が6クラブです。30人以下のクラブが半数以上です。会員数でみますと昨年の5月1日で2,106名です。今年の2月末で2,158名、7月1日2,104名です。神成年度のスタート時点より2名減で中條年度はスタートしました。色々の要因があると思いますが、新潟、長岡都市部の転勤族の問題、銀行の統合等による金融関係の会員の減少。この様なことを考えてみますと、地区はクラブに対して何もしなくていいですよということではなく、中條GBの基本的な考え方は、地区の組織力と実践力を発揮するということです。

小さなクラブにどう関わっていくかという提唱でもあります。クラブリーダーシッププランを考えていますが、人数の少ないクラブに4大奉仕委員会を置くことは無理です。そこで例えばクラブ奉仕委員会として今年度は、社会奉仕に重点を置いて、次年度は国際奉仕というように1つのターゲットにしばって

活動する。というようにすれば、クラブの活性化も図られ、予算的にも取り組みやすくなる。これがクラブリーダーシッププランです。これはクラブの細則等にも関わってきますので、すぐに実行ということはできませんがこういう事を発進していこうと中條GBは考えています。

最後に公式訪問のことですが、担当は落合副幹事です。12月の三条北クラブを最後に終了しますが、ガバナーに同行して公式訪問に行ってみたいと言う方は是非行ってみてください。大変勉強になります。落合さんに申し込みいただければ、落合さんの方で調整してもらいます。

先程、加藤さんが出席率のことを言っておられました、この地区の出席率は全国の地区の中で2番目ですが60%代を確保すればいいだろうと中條GBは言っておられました。本心ではないと思いますが。

まとまらない話となりましたが、記念ゴルフ大会も含めて、地区大会がベッツ、地区協と同様 参集ロータリアンに楽しさ、喜びを感じられる大会になる様、一層のご協力をお願いして終わります。

臨時総会： 進行 本間重満幹事

本日の出席数は41名です。本クラブの定足数に達しておりますので本総会は成立